

GUIDE
BOOK

T S U
B A
M E
C I T Y



新潟県
燕市



技術、デザインが世界に認められ、
豊かな暮らしに貢献する“ものづくり”をはじめ、
世界と繋がる燕がある。

2012(平成24)年ロンドンオリンピックのメインスタジアム近くに設置されたリーフモニュメント。
当市の企業が持つ高度なチタン発色技術が採用されており、今もその美しさと高い技術が世界に発信されている。

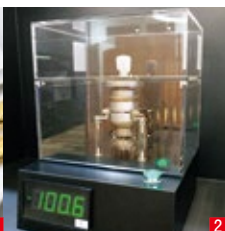
燕と世界と。



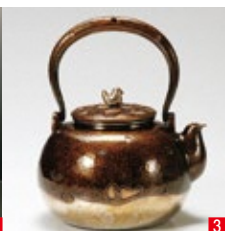
2016(平成28)年春に開催された分水おいらん道中で“桜太夫”役を務めたノルウェーの女性が活躍した。外国人女性のおいらん役は史上初。



1



2



3



4



5



6



7

1 1991(平成3)年、創設90周年を迎えたノーベル賞授賞式の晩餐会に燕市産のカトラリーが採用。また、2021(令和3)年、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の選手村食堂では、燕市でつくられた「おもてなしカトラリー」が使われ、世界中の選手をもてなした。2 FPSC:小型軽量・低消費電力・極低温冷却を実現する独自の新冷却技術。宇宙でも活躍する。3 燕の鋳造銅器(一枚の銅板を様々な技法で立体的な器に仕立てる)の製造は、江戸時代中期に始まる。内外の博覧会に出品し、世界に名を馳せる。4 亀倉雄策(1915-1997)/東京オリンピック、大阪万博のポスターなどを手掛けた世界的グラフィックデザイナー。ワルシャワ美術アカデミーより名誉博士号を授与される。5 玉川宣夫(1942-) / 多種の金属板を重ねて鍛え、加工する技法「木目金」の第一人者で人間国宝。外国人作家への指導も行う。6 モンゴル国とアーチェリーのオリンピックによるレッスンを開催。市民とスポーツ交流や文化交流を図っている。7 2023(令和5)年、新潟市で開催されたG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の記念品に燕市産の各製品が採用された。

INDEX

- 01-02 燕と世界と。
- 03-04 3つのDNA 県の要
- 05-06 金属加工産業のまち
- 07-08 良寛/長善館
- 09-10 大河津分水
- 11-12 自然と史跡
- 13-14 農業と地元ならではの食
- 15-16 くつろぎ施設
- 17-18 次代の燕の輝きのために
- 19-20 子育てするなら燕市で
- 21-22 独自の教育プログラム
- 23-24 市民協働のまちづくり
- 25-26 Tsubame MAP/
伝統の祭りイベント

姉妹都市

アメリカ合衆国・ミシガン州ダンディ村
アメリカ合衆国・ウィスコンシン州
シェボイガン市

2006(平成18)年3月20日に

燕市・吉田町・分水町が合併。

「人と自然と産業が調和しながら、進化するまち」を

将来像として新燕市がスタート。

燕市市民憲章

人と自然と産業が調和しながら

進化するまちをめざして、

私たちつばめ市民はこの憲章を定めます。

わたしたちのまち

豊かな自然の恵みが、人を育むまち

わたしたちのまち

人が集い、語り合い、優しく助けあうまち

わたしたちのまち

伝統の技と知恵が、新たな技を生み出すまち

わたしたちのまち

世界と未来に向かって限りなく羽ばたくまち

わたしたちはこの憲章を道しるべとして、

豊かなまちづくりにたくましく前進します。

2006年・平成18年8月10日制定

交通安全都市宣言(2006年・平成18年12月25日宣言)

非核平和都市宣言(2006年・平成18年12月25日宣言)

健康・スポーツ都市宣言(2007年・平成19年3月26日宣言)

教育立市宣言(2008年・平成20年9月29日宣言)

吉田町

ゆとりと活力を育む
ふれあい創造のまち
よしだ

「交通の要衝」を活かし
工業立町を宣言し、目覚
ましい進展を果たした。

1954(昭和29)年

吉田町・米納津村・粟生
津村が合併し、新吉田町
誕生

分水町

人、いきいき 河、きらきら
水の文化と良寛の里

大河津分水の大事業を
成し遂げた先人の偉業と
良寛の愛の心を受け継ぐ。

1954(昭和29)年

地藏堂町・島上村・国上
村が合併し、分水町誕生

燕市

活力とやさしさで
人が輝くまち・燕

金属洋食器、金属ハウスウ
エアの国内主要産地として、
世界のマーケットに展開。

1954(昭和29)年

燕町・小池村・小中川村・
松長村が合併し燕市誕生

人口: 76,628人
世帯数: 31,081世帯
総面積: 110.94km²
いずれも2024(令和6)年1月末

金属加工産業のまち

高技術の
一大集積地ならではの
自由自在な
サプライチェーン。

燕市のもづくりは、400年近い歴史のなかで常に新たな道を切り開いてきた。金属洋食器は全国シェアの90%を超え、現在も時代のニーズに応える製品を世に送り続けている。多様で高度な加工技術が集積されるこの地は、世界有数の“総合工場”にも例えられている。

DATA

製造品出荷額等 3,939億円

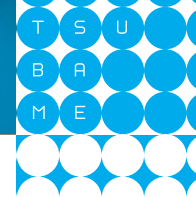
事業社 802社

従業員数 15,730人

2021年「燕市の工業」

特許数 926件

2023年 特許庁「特許情報」



燕市ものづくり年表

江戸時代 | 明治 | 大正 | 昭和 | 平成 | 令和

和釘

- 1657 専業現る ●江戸の明暦・元禄の大火の復興で燕の和釘が使用された
- 1681～1684 「釘鍛冶千人」 ●明治初期 洋釘輸入で和釘の生産が衰退

ヤスリ

- 1736～1741 会津から製法伝わる

鋳起銅器

- 1764～1772 仙台の職人が伝授

キセル

- 1764～1772 江戸で製法を修得 ●昭和初期 190戸・390人の職人
- 1776 会津の職人が製法を伝える ●1937 日産6万本（日本一の産地）

金属洋食器

- 1911 東京より高級洋食器の受注あり
- 1914 欧州向け高級洋食器受注

ハウスウェア

- 一大ステンレス鋼の加工基地へ
- 1947 家庭用ハウスウェアの生産開始

燕市のもづくりは、江戸時代初期の和釘に始まる。信濃川の度重なる氾濫に悩まされるなか、困窮する農民の副業として推奨されたといわれる。



燕市産業史料館

燕市の金属加工産業の発展の歴史を伝える史料館。江戸時代初期の和釘づくりをはじめ、ヤスリ、キセル、鋳起銅器の製造工程と、作業場の復元展示や活躍中の金工作家の作品を展示。

〒959-1263 燕市大曲4330-1 TEL0256-63-7666

■開館時間／午前9時～午後4時30分（体験受付は午後4時まで）

■休館日／月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始

新たな分野へ挑戦

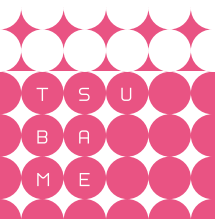
地元企業等29社（燕市内21社）で構成される「燕市医療機器研究会」で、医療業界の研究や試作品開発に取り組んでいる。「燕市フィギュアスケートブレード開発研究会」では、燕の技術を活かして既存の製品より高品質なものを開発。2020（令和2）年、3年半の研究の末、「燕ブレード」が完成し市販されている。



開発された「ワイヤーリングローマン鉤（整形外科手術機器）」



完成した燕ブレード



良寛

(1758-1831)

越後出雲崎に庄屋の長男として生まれ、18歳で禅僧を目指した。岡山の円通寺(曹洞宗)をはじめ各地で厳しい修行を重ねた。

40歳頃からの約20年は、燕市国上山の中腹、国上寺の五合庵にひとり暮らした。当時、相次ぐ信濃川の氾濫により多くの人々が苦悩するなか、貧富や老若男女の区別無く交流し、その心に寄り添う慈愛に満ちた振る舞いに、多くの人が共感と信頼を寄せた。

一方、漢詩、和歌、書分野では独自の境地を開拓。和歌1,400首など多数の作品を残し、夏目漱石、川端康成をはじめ多くの文人、画人から高い評価を得ている。



五合庵

燕市分水良寛史料館

良寛の足跡を伝える史料館。良寛にまつわる詩、歌や書を見ることが出来る。

〒959-0181 燕市上諏訪9番9号 TEL0256-97-2428

■開館時間／午前9時～午後4時30分

■休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



托鉢に出向いては、
人びとの心に寄り添い、
判りやすく教えを説いた。

この雨で土手が破れるか心配だ——漢詩

役人は初心をわすれるな——若い役人へ和歌

民が悪ければ自分を反省せよ——庄屋へ和歌

長善館

ちょうぜんかん



鈴木文臺(1796-1870)

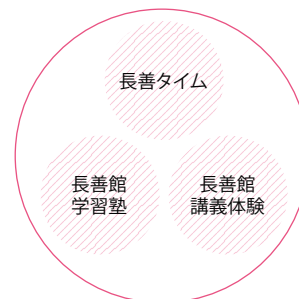
人々の暮らしを支えた 「実践躬行」の教え

文臺が良寛と出会ったのは18歳の頃。良寛はその才能を絶賛し、手紙や五合庵で交流を深めた。

長善館は、旧吉田町粟生津に1833(天保4)年に文臺が創設した私塾。その名には、良いところを伸ばすという意味を含め、「困った人を救う」「学んだことは即実践してこそ価値がある」などを学是とした。

大河津分水の建設にも 多くの塾生が尽力

治水をはじめ医療など学究の道へ多くの人材を輩出した。「越北の鴻都」と評され、1912年に閉校するまでに学んだ子弟は1,000人を超える。



今の教育現場や地域でも実践されています

燕市長善館史料館

展示室では長善館の歩みや教育の特徴、教育の方法や門下生たちの多彩な活躍ぶりが紹介されている。

〒959-0227 燕市粟生津97番地

TEL0256-93-5400

■開館時間／午前9時～午後4時30分

■休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



長善館をテーマにした 偉人漫画、小説、絵本

幅広い世代に長善館の教えを伝授するため、文臺を主人公にした漫画、小説、絵本が親しみやすい教材として利用されている。



大河津分水

水害から暮らしを守る

水害が頻発したかつての越後平野。享保の頃(1716~36)から幕府に願っていた大河津分水工事の実施が決まったのは1870(明治3)年。5月に工事が始まったが、さまざまな問題から工事はたびたび中止された。

そして1896(明治29)年7月22日、燕市横田の信濃川の堤防が300mにわたり決壊(横田切れ)。越後平野全域が浸水する大水害が発生した。浸水が3カ月間に及ぶところもあった。

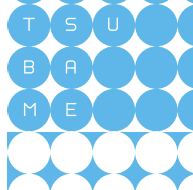
東洋一の工事

横田切れを受け、1909(明治42)年に工事が再開。最先端の大型機械(エキスカベータ)を導入し、延べ1,000万人が工事に従事。山を切り崩し、川を掘削するなど、その規模は東洋一といわれた。1922(大正11)年8月、大河津分水が通水し、1924(大正13)年3月に竣工式を挙げる。2022(令和4)年、通水100周年を迎えた。

大河津分水の恩恵

分水による湿田の乾田化が進んだ越後平野は、日本有数の米どころとなった。低平地の排水性が向上したことから、かつて川の中だった場所は、宅地や農地等として利用することが出来るようになった。主要幹線国道、高速自動車道、新幹線が越後平野の中央に整備され、新潟県全体の発展に大きく貢献した。

信濃川の河口(新潟市)から約50km上流(燕市)で分流し、日本海に注ぐ人工の河川。
100年にわたり安全な暮らしを守っている



桜の一大名所

堤防沿いには、建設に尽くした多くの先人たちの偉業を讃えるため植えられた約1,500本の桜を楽しむことができる。「日本さくら名所100選」にも選ばれている。



1 大河津分水桜並木

4月中頃にはおよそ5kmにわたりソメイヨシノが堤防沿いに咲き誇る。夜桜のライトアップも実施される。近くには約400本の桜をはじめ、四季折々の花木が楽しめる大河津分水さくら公園もある。

2 大河津分水可動堰

大河津分水に設置され、堰を開閉することによって分水に流す水量を調整している。

3 分水おいらん道中

毎年4月に、大河津分水桜並木と地藏堂本町通りで開催。その起源は大正13年頃、地元の有志が行った花見客をもてなすための仮装行列と伝わる。

4 信濃川大河津資料館

信濃川改修工から100年を記念して1978(昭和53)年に開館。大河津分水建設の歩みや役割などを紹介する。

■所在地／燕市五千石 TEL 0256-97-2195

■休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

自然と史跡

四季の彩りを

そこはかとなく味わう。

良寛が愛した国上山。標高313mの低山だが、四季の移ろいを感じられる。良寛の心に触れられる史跡にも出会える。ものづくりのまち燕の、もうひとつの顔が見えてくる。

T S U
B A
M E



国上山

弥彦山塊の南端に位置する標高313mの自然豊かな山。中腹の国上寺裏に広がる約5,600坪のブナ林は、低地に残る貴重さから1993(平成5)年に県の天然記念物に指定された。朝日山展望台からは、越後平野、大河津分水をはじめ、八海山や谷川岳、苗場山も望める。



新緑の頃のブナ林

国上山の花々



オオミスミソウ



カタクリ



ナツツバキ



クルマユリ

1 国上寺

709(和銅2)年に越後一の宮・彌彦神社の託宣により建立された県内最古の名刹。上杉謙信が祈願寺とし、当山の千手観音を信心した。上杉景勝や直江兼継ゆかりの文書も残る。

2 八王寺の大白藤

5月上旬から中旬にかけて樹齢350年、県内最大の白藤が満開に。一本の木から無数の枝が広がり、優雅な花の香りが境内にたちこめる。(安了寺内)

3 水道の塔

1941(昭和16)年建設。高さ31m。上部に貯水槽を備え、水を落下させることで各家庭に水を供給していた。

4 米納津隕石

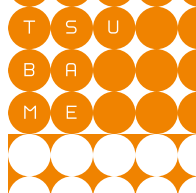
1837(天保8)年6月11日、富永の地に隕石が落下。「田の草取り中、天から落ちてくる音に驚き、人々は慌てて逃げた。田には水煙があがり大騒ぎとなった」と伝わる。

農業と 地元ならではの食

信濃川、中ノ口川が運んだ
肥沃な土壌と豊かな恵み。

燕の耕地面積は5,490haで、市の土地面積の約50%を占める。主な生産物は米、トマト、きゅうり。特に米づくりは生産性が高く、単位当たりの収穫量は県内1位を誇る(10a当たり537kgを収穫)。

耕地面積:令和4年耕地面積調査(北陸農政局)
水稻10a当たり収量:令和5年産水稻の市町村別収穫量(北陸農政局)



1 飛燕舞

2009(平成21)年に商標登録し、翌年から販売。農業、化学肥料を5割以下に低減した燕市産コシヒカリのみを厳選している。



1 つば九郎米

2011(平成23)年に東京ヤクルトスワローズとのタイアップで開発。商品名や米袋に使用しているのは、スワローズのマスコットキャラクター。

2 もとまきゅうり

1973(昭和48)年に組織された「本町そ菜出荷組合」が栽培。春きゅうりが人気で、県内産としては最速の3月上旬に出荷される。

3 つばめトマト

露地とハウスで、5月から10月くらいまで栽培。主な品種は「桃太郎」で、甘味とほどよい酸味、しっかりとした果肉が特徴。

我がまちのソウルフード

1 背脂ラーメン

昭和初期に誕生し、昭和30年代にはまちの工場で夜遅くまで働く人への出前として利用された。冷めないようスープに背脂を浮かせ、伸びにくい極太麺を採用。醤油味の濃いめのスープが、汗をかいて働く職人たちに愛された。2022(令和4)年、文化庁より地域特有の食文化として、100年フードに認定された。



2 鶏肉のレモンあえ

鶏肉の唐揚げをレモンの入った甘辛いタレでからめた料理。昔から学校給食の人気メニューとして愛されている。提供店マップもある。

3 釜飯

燕市では昭和30年代、好景気を背景に市内に広まり、大きな仕事が終わったときや、祝い事などの「ハレの日」に食べられるようになった。



新たな取り組み

農作物の品質向上と生産量アップや農業の担い手不足解消を図るため、先進技術導入による農作業の効率化・省力化を推進している。AI・ICTを活用した生育管理システムやドローンの導入を推進するため、農業者には勉強会などで啓発を図っている。



子どもからシニアまで 遊びながら学べる。

市内には、自然と触れ合える公園、交通ルールが学べる公園、防災が学べる公園などがあり、子どもからファミリー、シニアまで幅広い市民に利用されている。道の駅SORAIRO国上では、地場産製品や野菜の買い物のほか、手ぶらバーベキューやキャンプが楽しめる。ドッグランやRVパークも整備。



てまりの湯・露天風呂から望む
秋の国上山



道の駅SORAIRO国上

新鮮な産直野菜や燕市の名産を味わう「食」、バーベキューやデイキャンプ、公園でアクティブに楽しむ「遊」、足湯や天然温泉でゆったり過ごす「癒」をテーマに、訪れること自体が「旅の目的になる」道の駅。

■所在地／燕市国上5866-1
TEL 0256-98-0770

1 313ファーマーズマーケット

近隣農家の朝採れ新鮮野菜・果物や色とりどりのきれいなお花が並ぶ。

2 手ぶらバーベキュー

「お手軽BBQプラン」や「食材持込みプラン」、2時間飲み放題の「パーティプラン」などがある。

3 キャンプエリア

手ぶらのデイキャンプから本格キャンプも楽しめる。

4 足湯テラス・フードコンテナ

県内最大規模の無料の足湯とSORAIRO国上名物のもも太郎ソフト。

5 食堂

燕背脂ラーメンやキャンプ飯が味わえる。

6 日帰り温泉 てまりの湯

トレッキングやサイクリングの後にゆっくり汗を流せる。

くつろぎ 施設



燕市交通公園

信号機や踏切があり、交通ルールを学べる公園。ゴーカートコースは立体交差もある一周650m。サイクルモノレールでの空中散歩や、芝生広場ではお弁当持参でピクニックも楽しめる。

■所在地／燕市大曲3375



吉田ふれあい広場

芝生の多目的広場はサッカーコート4面分の広さ。芝生の感触を味わいながら体を動かすことができる。春には桜を楽しみながら公園の外周でウォーキングやジョギングをすることができる。

■所在地／燕市大保466



東町公園

園内にはかまどやトイレに変わるスツール、お風呂に変身するバーゴラ、避難スペースに変わるあずまやなどが整備されている。市民の憩いの場所であるとともに、防災の学びの場としても利用されている。

■所在地／燕市佐渡797-3先



国上健康の森公園

道の駅SORAIRO国上に併設。コイの餌やりができる小川や、子どもたちがのびのびと遊べる遊具のほか、起伏のある地形を生かした広々としたドッグランも整備。

■所在地／燕市国上5866-1



みなみ親水公園

水と親しみ、生き物とも触れ合える池や水路を整備している。「芝滑り」ができる丘は子どもたちの人気スポット。ユニークな遊具が多く、親子で楽しめる。

■所在地／燕市吉田6123-1



大曲河川公園

中ノ口川左岸にあり、貴重種のタコノアシ、キハダが群生している。またキジやチュウヒなどの野鳥も身近に観察できる。まさに自然と触れ合える公園。

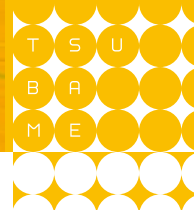
■所在地／燕市大曲4258-2

本気で、挑んで、
弾けるつばめをつくりたい。



次代の燕の 輝きのために

新たな時代を拓き、まちをつくるには新しい
エネルギーが不可欠。先人たちが築いた
尊い苦難の足跡や地域の重要な資産を
見つめ直し、新たな価値の創造に向け勇気
をもって挑戦し続けるまちを目指す。



まちに関わるきっかけづくりの場が多彩

未来を担う若者が将来の燕市を考えて、その実現のために行動していく「つばめ若者会議」。
2013(平成25)年に活動を開始し、燕市の20年後のビジョンブック「つばめの幸福論」を発表。
2016(平成28)年には、学生等を対象とした「燕ジョイ活動部」、さらに、2020(令和2)年には
高校生を対象とした「燕市役所まちあそび部」をスタートさせ、まちをフィールドにさまざまな活動
を行っている。



20年後のビジョンが描かれた「つばめの幸福論」



学生等が中心の「燕ジョイ活動部」。
若者の「ノリ」から生まれる多様なアイ
デアで活動を展開している。



高校生が主役の「まちあそび部」で
は、まちの資源を使い、まちの人と一
緒に、まちであそんでいる。

燕市役所まちあそび部が 総務省「ふるさとづくり大賞」受賞

高校生がまちづくりに関わるきっかけを、楽しみながら
“あそび”の観点から創出している点などが評価され
た。



新しい視点と人材で ものづくりを刺激する

本市への新たな企業・人
の流れをつくり、新たなイノ
ベーションを創出すること
を目的に、市内シェアオ
フィス・サテライトオフィスの
活用を促進している。



2024(令和6)年3月現在6カ所の施設が整
備されている。



つばめ産学協創スクエア

インターンシップの大学生らを受け入れ
る宿泊・交流施設として、地元企業の
出資により2018(平成30)年2月に開
設された。受け入れ企業は、インター
ンシップで次世代の有能な人材確保に
つなげ、学生の声で商品開発にもつな
げたいとの声も多い。2021(令和3)年
に「地域再生大賞」の準大賞、2023
(令和5)年に「学生が選ぶキャリアデ
ザインプログラムアワード」の地方創生
賞を受賞した。

女性が活躍する環境をつくる

性別にとらわれずに多様な生き方ができるまちを目指し、女性が働きやす
い職場づくりを進めている。地域でのロールモデルとなる女性を2016
(平成28)年より表彰している。誰もが活躍できる環境を整備すると
ともに、ワーク・ライフ・バランスの推進を図っている。



「子育てするなら 燕市で」には 理由がある

のびやかな“つばめっ子”を育むため出会いから
子どもの進学・就職までまごど応援する体制
を整備している。



燕市の充実した
子育て支援策を
紹介しています！

燕市子育てサポーター
アルビレックス新潟 島田譲選手
(任期:2023.6.20~2025.3.31【2024.3.31時点】)
©ALBIREX NIIGATA

理由

01

ライフステージに合わせ、
120を超える充実した
制度・補助がある！

理由

03

市内の事業所や地域が
ともに連携し、
子育てを支える仕組みがある！

理由

02

児童館をはじめとした個性的で、
子育て目線で整備された
子育て支援施設がある！

理由

04

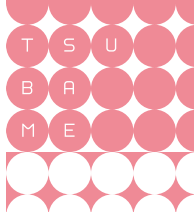
私塾・長善館の教えにならい、
個性を伸ばしながら
人間力を高める教育がある！



市内には12カ所の子育て支援センターと7つ
の児童館があり、いつも子どもたちで賑わって
いる。この他、一時保育や病気になったお子さん
の保育、保護者の仕事や急用の際にお子さん
を預かったり、保育施設までの送迎を支援する
ファミリー・サポート・センターなど、きめ細かい保
育サービスが充実している。



つばめっ子はしなやかに
故郷を愛す。



燕市の子育てコンシェルジュは
頼りにされている

市内の各子育て支援施設には、国の専門研修を受講した50名以上の
子育て支援のエキスパートが常駐。子育ての幅広い悩み相談に対応し
ている。



市内事業所も子育てを応援
つばめ子育て応援企業認定制度

従業員の子育て支援を積極的に進めている企業を「つばめ子育て応援
企業」として認定。男性従業員が連続5日以上の子育休を取得すると、市
から奨励金を支給する。



屋内こども遊戯施設で
思いっきり遊べる

(令和7年3月オープン予定)

天候を気にせず、思いっきり遊ぶことができる施設。年齢に合わせて3つ
のエリアで楽しむことができ、県内最大級のネット遊具も整備。屋根付き
駐車スペースもあり、雨天時や猛暑日でも快適に利用できる。

つばめっ子は
常に新たな価値づくりに挑戦して、
社会に貢献する。

独自の 教育プログラム

「個性や可能性を伸ばし、挑戦し続ける人」
「多様な他者と協働し、新たな価値を生み出す人」
「ふるさと燕を愛し、社会に貢献する人」
つばめっ子には3つの姿を目指してほしい。
そのために燕市ならではの取組がある。
長善館の想いは、今も燕の教育現場に息づいている。

個性を伸ばす 特徴あるプログラム

1 長善館学習塾

多様なプログラムを通して、自立心や助け合う心、問題解決能力など、リーダーとしての資質を養い、未来の燕市を担う人材を育成する。

2 Jack&Betty教室

英語ネイティブ講師やJTEによる英会話教室。英語でのコミュニケーション能力を高めグローバル社会で活躍する人材を育成する。

3 つばくろロボキッズ

ロボットのプログラミングに挑戦することで論理的思考力や学び続ける意欲を高める。希望者は大会にも挑戦する。

4 Good Jobつばめ推進事業

工場、農家、保育園などでの職場体験を通して、自分の将来を考え、ふるさとへの誇りや自立して生きていく力を育む。2017(平成29)年度に文部科学大臣表彰を受賞した。

5 燕ジュニア検定

市内の全小中学生が受験し、市の産業や文化、歴史など、ふるさとを知るきっかけになっている。



1



2



3



4



5

「読解力」育成で 確かな学力を育む

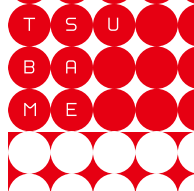
学びの土台となる「読解力」の育成に力を入れている。子どもたちの「わかる」「できる」を強化し、主体的な「学ぶ意欲」につなげる。



この他、「燕市英語スピーチコンテスト」、「親善大使海外派遣」、「中学生理数系トップランナー講座」、「燕キャブテンミーティング」などを実施。

市民協働のまちづくり

より住みやすい「まち」にするために、市民と行政が協力してまちづくりを推進。
さらに移住者にも外国出身者にも優しいまちになるために取り組んでいる。



市民を支える



利用者にやさしい公共交通

燕市と弥彦村の全域で予約制乗合ワゴン車「おでかけきらん号」が運行。事前予約制のドア・ツー・ドアで希望の場所まで1乗車300円で送迎している。また、燕地区、吉田地区、分水地区を結ぶ「スワロー号」は1日7往復、弥彦村と吉田地区を結ぶ「やひこ号」は1日5往復運行しており、いずれも1乗車100円で利用することができる。

充実した医療体制

人口あたりの病院・診療所数が県内20市中2位（令和4年福祉保健年報）で、身近にホームドクターを持つことが可能。燕三条駅近くに県央基幹病院が開院し、救急医療・高度医療・災害医療を担う。



みんなが
主役になれるまち。



1 イキイキ活動団体を支援

自主的に広く地域住民が交流するまちづくりイベントに取り組む団体の活動経費を助成し、まちの活性化を図っている。



2 若者の夢の実現を応援

「羽ばたけつばくろ応援事業」として、若者の主体的な活動を後押し。防災や福祉を視点とした地域活動や、子ども食堂支援などにつながっている。



3 移住者と市民の交流促進

移住者同士、移住者と市民の交流の場を提供。ものづくりのまちならではの職人との交流会も企画されている。

4 みんなでつくる多文化共生のまち

増加傾向にある外国出身者が安心して働き、生活できるようサポート。外国出身者と市民がお互いの理解を深めるための交流会を開催している。

5 市民がつくるマルシェ「ツバメルシェ」

飲食や雑貨・小物の販売、さらにはハンドマッサージなども体験できるツバメルシェはマルシェ。市民有志の実行委員会が毎回趣向を凝らしたイベントを企画している。



Tsubame MAP



燕市PR隊鳥(長)つば九郎
東京ヤクルトスワローズマスコット



上杉香緒里さん
演歌歌手



本宮宏美さん
フルート奏者



田中秀幸さん
声優・ナレーター



秋山武士さん
料理人・経営者



宇佐美彰朗さん
マラソン選手・指導者



大塩綾子さん
アナウンサー



村山瑛子さん
料理研究家



いっすねー! 山脇さん
お笑い芸人



岸本大紀さん
スポーツ大使・陸上選手

Event

伝統の祭りイベント

2月

●越後つばめの天神講

学問の神様、菅原道真公の命日を偲ぶ天神講。2月25日に色鮮やかなお菓子を供え、それを食べると“勉強ができるようになる”という言い伝えがある。



3月

●国上山山開き

標高313mの国上山には多くの遊歩道が整備され、初心者からファミリーまで、幅広い年代の人たちで賑わう。



4月

●燕さくらマラソン大会



●分水おいらん道中



5月

●八王寺の大白藤 ●戸隠神社春季祭礼

「萬燈」と「お玉ちゃん」が踊る「伊勢音頭」は、一見の価値あり。境内では参詣者と露店で賑わう。



●吉田天満宮祭礼

毎年5月24日、25日に開催。天神様としても親しまれている。祭礼には多くの露店で賑わう。

7月

●飛燕夏まつり ●分水まつり ●吉田まつり ●燕大花火大会



9月

●越後くがみ山酒吞童子行列



●戸隠神社秋季祭礼

最強の鬼「酒吞童子」誕生の伝説が残る燕市。9月最終の日曜日、鬼に扮した人びとが集い、心願成就を祈願する。

10月

●燕青空即売会

金属洋食器や台所用品などが、特別価格にて販売される年に一度のビッグイベント。市内外から多くの人が集まる。第1日曜日に開催。

●燕三条 工場の祭典

約100の工場で、普段は見ることのできない“ものづくり”を見ることができる。期間中は約3万人が来場する。





燕市役所庁舎 2013年竣工 —シビックファースト。

庁舎の特徴

「ESEC」をコンセプトに設計し、2013(平成25)年5月に竣工。

Economy(経済性)、Safety(安全性)、Ecology(環境性)、Civic(市民性)の4つの視点で建設しました。

E 環境に優しく、 周辺環境との調和を

「エコボイド」と「スイング窓」で自然エネルギーを積極的に活用しています。外観も落ちつきある色調で統一しました。

S 安全・安心で あらゆる人にやさしい

段差をなくしユニバーサルデザインに徹しました。個人情報保護に配慮した相談コーナーを設置しています。

E 無駄を省いて スリムに

自然光を多く採り入れ、照明用の電力の節減を図っています。自由なデスクレイアウトが可能な執務スペースを確保しました。

C 親しまれ、 住民自治の拠点に

つばめホール、会議室をはじめ屋外の「まちづくり広場」も広く市民に利用されています。

防災機能も装備

大地震にも安全が確保できるよう、免震構造を採用しています。
自家発電機・ヘリポートも備え、防災拠点機能も備えています。

市の鳥

ツバメ

鳥言葉「幸福の予感」

市の木

サクラ

花言葉「精神の美」

市の花

サルビア 花言葉「燃え上がる思い」

バーベナ・テネラ 花言葉「ふれあい」

キク 花言葉「高貴」

燕市役所

〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田1934番地
TEL.0256-92-1111(代) FAX.0256-77-8306
<https://www.city.tsubame.niigata.jp/>

